

「休日」の学校部活動の 地域クラブへの移行に向けて

部活動の地域移行とは、学校が主体の学校部活動を地域が主体となる地域クラブ活動に移行する取組です。少子化が進む中、生徒が継続して、多様なスポーツや文化芸術活動に親しむ機会を確保することを目的としています。

どうして部活動の地域移行をするの？

→全国で少子化が進んでいるため

- ・ 1部活動あたりの部員数が減少
- ・ 1中学校あたりの部活動設置数が減少



○子供たちのスポーツ・文化芸術活動の機会を守る

- ・ 地域で多様なスポーツ・文化芸術活動ができる機会を確保

○地域の子供を地域で育てていく

- ・ 地域の多様な世代と豊かな交流
- ・ 学校を超えた仲間づくり

ひたちなか市の現状は・・・

市内中学生総数は、令和元年度には4,220名でしたが、令和6年度には3,750名と、約500名減少しています。



○中体連の大会に**合同チーム**

で参加した事例

令和5年度総体	サッカー	(美乃浜、大島中)
新人戦	ソフトボール	(二中、大島中)
令和6年度総体	サッカー	(美乃浜、田彦中)
新人戦	ソフトボール	(一中、田彦中) (二中、三中、湊中)

○部員減少により部活動がなくなった事例

令和5年度より 那珂湊中バレーボール部男子

学校部活動から地域クラブ活動へ

地域クラブ活動は、地域の多様な団体が運営・実施する活動です。学校施設のほか、市民体育館やコミセンなど、様々な場所で実施します。地域のこどものニーズに合わせた様々な選択肢をつくることができます。

学校部活動

学校単位での部活動 例：○○中学校での部活動



地域クラブ活動

地域クラブ活動 例：○○市町村での地域クラブ活動



(スポーツ庁広報資料参考に作成)

どのように進めていくの？

学校や地域の状況を踏まえて、段階的に進めていきます。

準備ができた種目から順次スタートしていきます。

(市公式HPなどで随時お知らせします)



ひたちなか市の地域移行の現状はどうなっているの？

○ソフトテニスや柔道など、地域クラブで活動している生徒が、総体や新人戦等の中体連の大会にも出場しています。

○令和6年10月より、「ひたちなか市バレーボール教室」が始まり、クリニックを開催しています。



Q & A

Q 休日の部活動はいつまでに地域に移行するの？

A 令和8年度始めから移行できるよう準備を進めています。体制が整ったところから、順に活動をスタートしていきます。

Q 平日の部活動はどうなるの？

A 当面、今までどおり継続します。

Q 部活動以外の種目もできるの？

A 生徒の皆さんが希望する活動ができるように整備を進めていきます。

「地域移行」のメリットは？

POINT 1

自分のやりたい活動ができます！
複数の活動を兼ねることもできます！

POINT 2

ニーズに応じた技術指導を受けられます！

POINT 3

地域の様々な年代の人や、他の中学校の生徒とも関わるすることができます！

地域移行をすると、休日はどんな過ごし方になるの？



休日をどのように過ごすかは、自分で選択できるようになります。学校部活動と同じ種目に限らず、自分の興味や関心のある様々な活動に参加できるようになります。

<活動の例>

Aさん サッカークラブ Bさん テニスクラブ
Cさん 余暇を楽しむ Dさん 吹奏楽クラブ

→自分で活動を選択できます！

Q 休日はゆっくり休みたいのだけれど、活動しないといけないの？

A 休日に休むか活動するかは自分で決めます。

Q 異なる中学校の生徒でも、同じ地域クラブで活動できるの？

A 中学校が違って一緒に活動できます。

Q 地域クラブは中体連の大会に参加できるの？

A 中体連に加盟している地域クラブであれば参加できます。

Q 学校で入っている保険は使えるの？

A 地域での活動になるため、別の保険に加入する必要があります。



ひとが咲くまち。ひたちなか

ひたちなか市教育委員会

所在地：茨城県ひたちなか市東石川2丁目10番1号

電話番号：029-273-0111（内線7333）